



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2015年7月号

今後の予定

1. POM旅行

日時：7月18日(土) - 19日(日)
場所：奥飛騨温泉郷新穂高温泉「まほろば」
岐阜県高山市奥飛騨温泉郷新穂高温泉
TEL. 0578-89-2382
車乗合：後藤班・高田宅(10:00)・島崎宅(10:45)
大島班・榎田宅(10:10)・鈴木(今池10:30)
小澤宅(10:50)

2. パレットキッズとマス釣り会

日時：8月22日(土)・現地集合・10:00
場所：みやま荘
長野県木曾福島郡木曾町新開7618-3
電話：0264-27-6177
車乗合：後藤班・島崎
榎田班・大島
鈴木
◇待合せ場所、時間は班ごとに打ち合せのこと。

3. 土曜会(仮称)開催日

日時：10月24日(土)・18:00-
12月26日(土)・18:00-
場所：ケンポー
会費：5,000円/人
◇実費:4,000円・積立費:1,000円
欠席者は出席した月に、(欠席月数×¥1,000)+¥5,000
を支払う。
◇欠席の場合は前日の午後5時までに幹事宛連絡のこと。
連絡がない場合は出席と見なす。

6月例会およびその他活動報告

(敬称略)

役員	会員氏名	出席者		
		1	2	①②③④⑤⑥⑦
	大島 孝三郎	○	○	○
	小澤 幸男	○		○
書記	榎田 守隆	○	○	
会長	後藤 猛	○	○	○
	島崎 正剛	○		
会計	鈴木 誉三	○	○	○
	高田 廣	○	○	○
連絡主事	西野 真希	○	○	
ゲスト	万福寺 昭美			
諸活動	①老人ホームへの音楽訪問 6/21			
出席率(%)				100.0
クラブファンド(円)	・当月/累計	7,000	78,010	
永い間、寄稿ありがとうございました。みなさんのご協力でここまで無事続けられたことを感謝いたします。				



(名古屋 YMCA 5F 会議室で全員真面目に最後の記念写真です)



(いつも反省会名目で飲んでいましたが、今日はクラブのお別れ会)

6 月第 1 例会報告

日時:6 月 11 日(木)・18:45-19:15

場所:名古屋 YMCA 5F 会議室

1. 会長挨拶

一時は 27 人の会員を擁し、27 年間続いたわがプラザクラブは今月を以て解散いたします。これからはクラブのライフワークだった「LD 児とのマス釣り会」と「老人ホームへの音楽訪問」は継続しますのでご協力ください。YMCA の維持会員については各メンバーの判断にお任せします。

2. 仮決算報告(2014. 7-2015. 05)

収入 807, 079

支出 629, 767

次年度繰越金 177, 312 円

3. 解散後の親睦会

名称:土曜会(仮称)

頻度:1 回/2 ヶ月・偶数月の第 4 土曜日・集合時間 18:00

場所:新栄町「ケンボー」 052-931-0271

会費:詳細 1 面参照のこと。

幹事:榎田

会計:鈴木

4. 親睦会

早々に会議を終え、我がクラブの連絡主事を長く務めていただいた万福寺さんをともない、総勢 9 人で居酒屋「いごこ家」に向かう。「カンパイ!! 長い間ご苦労さま、今後ともよろしく」、酔わないうちにみなさんの写真を 1 枚撮る。先の会議で保留にした今後の親睦会の名称に、プラザ会、ケンボー会などが候補に上がるも、話題が逸れて決まらぬまま反省会は終了した。第 4 土曜日開催を忘れないため、ブリテンには取りあえず「土曜会」とした。

6 月第 2 例会報告

日時:6 月 25 日(木)・18:45-19:15

場所:名古屋 YMCA 5F 会議室

1. POM 旅行・後藤 1 面参照のこと。

2. パレットキッズとマス釣り会・榎田

(1) 浅野さんに、今後「マス釣り会」を継続する場合、釣り場使用料約 2-3 万円負担の了承を確認する。

(2) 8/22 雨天の場合、実施の有無を榎田宛へ連絡依頼する。

(3) 中止の場合、榎田は 8:00 前に参加者へ連絡する。

3. 残金(繰越金額)・鈴木

131, 492 円・今後の行事開催時に使用する。

老人ホームへの音楽慰問

プラザクラブの恒例であったがしかし最後の行事となる、音楽演奏による老人集合住宅への慰問を 6 月 21 日(日)、C アミーユ植田西で行った。聴衆のお年寄り 20 数名に午後 5 時のひと時、懐かしい数々の歌をお届けした。青い山脈、とんがり帽子、故郷、四季の歌など。協力頂いたのは、名古屋インタークラブ 2 名、想念寺子どもコーラスぼこ・あ・ぼこ 6 名、ギター弾き語りの稲場禮子さん、 Hammond オルガン演奏鈴木郁

子さん、それにわがクラブ 5 名が参加した。聴かれた方たちは大変活発に唱和や手拍子をされ、おおいに楽しんで頂けた様子であった。発案者小澤幸男メンのオルガンの腕前もここにきてかなりの上達が見えた。

(大島孝三郎)

◇今月でクラブは解散します。「プラザの思い出」をテーマに 800 字以内の原稿をお願いしました。

プラザクラブの思い出

大島 孝三郎

1994 年 3 月に YMCA の維持会員となりました。その 1 年ほど前に高橋正光さんから詳細にクラブの説明を受け、黒田忠嘉さんからもお会いするたびにお声を掛けて頂きました。そのころ勤務先の本社の移転準備中であり、引越しの後、半年を経てようやく入会しました。入会時のメンバー数は 25 名ほどでしたが、メンの資格で水谷幸助さんのメネットミツ子さん、同じく黒田邦子さん、山内三枝子さんがおられ、そのほか例会に阿部美男さん、大野博昭さん、小澤幸男さん、後藤猛さん、島崎正剛さん、鈴木誉三さん、大島の各メネットも出席があり、講師にも女性が登場するなど華やかな雰囲気がありました。木全耕二さんが会長の時に、メネットの誕生祝に、花束を贈ることが実行されその年度は女性に目を向けたイベントが多かった印象があります。1999-2000 年に会長を経験しました。会長研修会の後、5 月連休中はハンドブック・ロースターを熟読するなど、活動に最も熱中した時代でした。2009-2010 年は中部部長をしましたが、西日本区大会の大勢の前で中部の活動報告をする為にパソコンのパワーポイントを習うなど最も忙しく、難しい時でした。しかし、区書記の上野恭男さんや柏原佳子さんともお知り合いになり、厳しいご指導のかたわら、温かいお人柄に接し、楽しい交流もでき活動の幅が広がりました。各部の西日本区大会、北海道でのアジア地域大会、横浜での国際大会、台湾でのアジア地域大会など思い切って参加した時はそれぞれワイズ活動の広がりやグローバルな連帯感を肌で感じ良い経験に成ったと思っております。

プラザクラブの思い出

小澤 幸男

このたび解散することになりました名古屋プラザクラブの思い出を綴りたいと思います。

昭和 62 年、銀行の関係の会で一緒でした黒田さんから、今回 YMCA に関係するワイズメンズクラブを独立して新たに作るから入会してほしい、との勧誘を受けました。

それまで YMCA と何ら関係なく、ヴィレッジ・ピープルの曲で知っている程度でしたが、義理もあり発足前の例会に何度か顔を出しているうちに自然にチャーターメンバーとなってしまう。

最初は東海クラブから移籍された方々に色々教え頂き、独特の用語、しきたりなどあまり馴染がない事に戸惑いました。

5 周年記念例会を名鉄犬山ホテルで開催して、グランパスクラブのホストクラブとしてチャーターナイトを開きました。

当日、記念例会の司会を務め、緊張して口のすべりが悪く、

言葉のつながりに“えー”、“えー”の連続で聞き苦しかったと思います。

今から考えると冷や汗ものです、ただその経験があったので、その後所属するロータリークラブで司会を3年やりましたが、なんとか務めることができました。

10周年の時は娘が重病に罹り、2月から半年ぐらい休まっていた時にあたり、残念ながら出席できませんでした。

20周年の年はちょうど会長を務めていまして、記念例会を中電の若竹で開催しました。 HammondオルガンのBGと講演を同級生の当時、中日新聞の常務取締役の小出宣昭君にお願いして好評だった思い出があります。その小出君も現在は社長をつとめておられ、たいそう出世されました。

その頃より老人施設への慰問を行い、今までに通算15回くらい開催したと思います。 私たちも老人の年齢になりましたが若い人の助けを得て継続していけたらと考えています。

その他に沖縄での例会、上前津から代官町、池下へのYMCAの移転、まだ子供が小さかったころの家族例会、中部部長の代理で富山クラブへの訪問など色々な事が思い出されます。

今後も時々声を掛け合い、一杯飲みをしたいと思います。

仕事が忙しく、第2例会は欠席がちでしたが、何とかチャーターメンバーとして最後まで在籍しました、本当に有難うございました。

ブリテン係の自虐的愉しみ

榎田 守隆

会長役をお断りする代わりに月報係を引き受けた。担当して2年目の2005年6月号から月報の構成は、1面は予定表・出欠表、2面以降は、1ページ字数は通常50字×50行の2500字、3ページ合計7500字、原稿用紙約19枚分である。内容は例会議事録、行事報告、寄稿文、聖句である。◆この字数を埋めるのは大変だった。YMCAやワイズ、クラブの行事がない、依頼した原稿が届かない月の4ページ目は丸白白紙のこともあった。特に締め切りの第2例会後、日にちがない月は急いで何かを書いて体裁を整える必要がある。そのためZoom欄を設け、ネタになるような新聞記事をスクラップし始めたが、その99%は無駄だった。そんな状況を救ったのが写真である。◆写真の掲載は、プラザが名鉄グランドホテルで中部部会を開催した2009年9月の翌月号からだった。写真は枚数を増やさず、サイズを大きくするなど難無く調整が付いた。◆最後まで苦しんだのは「聖句」である。「ブリテンに聖句を掲載すること」と注意され、2006年4月号に載せた「目には目、歯には歯」が最初だった。初めから聖句だけにすれば良かったのに、ノンクリスチャンに分かり易くその由来や趣旨を、ノンクリスチャンのわたしが本やネットで調べながら、果てはそれに関連する「自分の思い」まで書いて後々後悔する。◆当初、聖句の意味、解説などを本やネットから二重括弧で引用するとき『イエス様を信じ、受け入れる』などと書くことを面映ゆく感じたが、時とともにそんな感情は薄れ、島崎さんから「隠れクリスチャン」と揶揄されるようになった。そんな言葉が11年間続けた自分への勲章だと思っている。◆時には苦しみながら、ブリテンの編集で楽しませていただきました。メンバーのみなさん、11年間、文句も言わずにお付き合いいただき、ありがとうございました。

クラブ解散に当り

後藤 猛

プラザクラブが開催して既に27年になりました。

27年の間には楽しい事、苦しいこと、難しいこと色々ありました。

10周年記念で沖縄YMCAへの支援(初代連絡主事秋重氏の沖縄転勤の応援の為)2泊3日でクラブメンバー6~7名で参加しました。

沖縄銘酒の泡盛でずいぶん盛り上がったものです。

我がプラザクラブは当初はサロンのような雰囲気でした。毎回の様に指定の飲み屋さんでダベッタリしていたのが殆んどでした。

中にはこの様なままでいいのか?本来のワイズメンの目的はなんなのか?色々な意見が出ていました。

そうした時期22,3名のクラブメンバーから5,6名の退会者を出して仕舞いました。

残ったメンバーでボランティア活動特にインフルエンザ脳症父母の会への支援、老人介護施設への Hammondオルガンを持ち込んでの音楽会の支援、発達障害児への岩魚、鱒釣り大会・バーベキュー大会の支援など積極的に行って来ましたが、クラブメンバーの平均年齢が75才にもなり、流石に体力の低下を感じる年となり、残念ながらクラブ解散にメンバーの意見が一致する事に成りました。

忘れられない18年

島崎 正剛

2015年6月11日午後6時30分に池下の新館YMCAの5Fにて名古屋プラザワイズメンズクラブの最後の第1例会がもたれました。出席者は、8名全員。後藤会長がメの会長としてご挨拶。1987年4月29日にチャーターして28年と2か月。名古屋東海クラブを親クラブとして発足。初代会長は黒田さんでした。

私が入会をしたのが1997年5月位か。奇しくも後藤会長の時でした。メンバーは22名。第1例会会場は、ホテルライオンズプラザ名古屋。チャーターメンバーが大半で、個性豊かなメンバーが揃っていました。今では考えられませんが、西日本区大会は全く眼中になしといった、今から思いますと独特の雰囲気を持ったクラブでした。私は個人的にはこういったのはとても好きなのです。18年の年月が経過して、解散は残念ですが、多くの方々との知己を得たことと、多くの場所に行けたことは、私には、豊かな財産となりました。また個人的にもこの18年間は、私の人生にとりましても転職、転居と一生の中でも大変な時期であり、終生忘れることのできない年月となりました。まだまだ人生を振り返る時期ではありませんが、一里塚の大樹の木陰で思いを巡らせる心境となりました。行く未来し方を思うとき、六甲での入会の研修会で栗原さんと隣同士で会話をしたこと、魚々美での飲み会、上前津のチャリティーバザー、チャーターメンバーの大量退会、山本中部部長のもとでの書記、チャリティアンの実行委員長、ファンド主任、クリスマスキャロルでの団旗を寒風の中で支えたこと、2013年の西日本区大会等々書けば切りがありません。非力ゆえにそれぞれの役割をきちんと果たせなかった後悔ばかりです。でも楽しめました。

なぜお金と時間を使ってYMCAのもとでボランティアをされるのでしょうか。クリスチャンはそんなに多くないのに、なぜでしょうか。人の縁でしょうか。若者ばかりでなく、高齢化社会にはいい受け皿になると思うのですが。付かず離れずで気にかけて行きたいと思います。ありがとうございます。紙面をかりてYMCAのますますの発展を祈ります。

プラザクラブの思い出

鈴木 誉三

現在の8名のメンバーでは高齢化が進む中、ワイズメンズクラブとしての運営が難しくなり、急に解散をする事になると、特に中部の各クラブに迷惑をかける事になると考え、全員一致で2017年6月をもってクラブは解散すると決めましたが、もうその日が来てしまいました。

16年前にプラザクラブに私を含め3名が入会した時は、27名のメンバーが在籍し、第一例会は栄のライオンズプラザホテルで行われていました。

入会後まもなくして、クラブの運営方針の違いから多くの先輩メンバーが急に退会され、一緒に入会した2人も退会し、その後も1人2人と減り続け半分以上のメンバー数になってしまいました。

入会し3年程経ち私もこのまま在籍すべきか考えていた頃、腰を痛めてしまい2か月程休んだ事がありました、久しぶりだったので早めに例会に出席すると、当時の会長の山本さんが一人で資料を配りながら黙々と例会の準備をしている姿を見て、少しはプラザの役に立ってから進退は決めれば良いと考え、いつの間にか解散まで残る結果になりました。

メンバー数が減ったこの10数年は、第一例会もYMCA内で行われる様になり、Yの職員の方とも話す機会が増え、募金活動への参加やLD児教室の子供達との魚釣りの企画も生まれ、それと共にYの活動内容を知る良い機会になりました。

またプラザが独自に続けている音楽による老人ホームの慰問は、初めは入居者の無表情な顔が、懐かしい音楽を聴き楽しかった昔を思い出すのか、表情が豊かに変わっていく様子のはっきりと解り、その様子見ているだけで温かい気持ちになりました。

プラザは少人数になって初めてクラブ方針が定まり、メンバー同士の協力関係も強まり、中部や西日本区の行事にも参加する様になり、やっとワイズメンズクラブらしいクラブになったと思います。

残念ながらメンバーの高齢化と夫々の仕事の都合で解散になりますが、クラブを通して仲間も出来、ボランティア活動や名古屋で開催された西日本区大会の準備にも参加する事が出来、本当にいい経験をする事ができました。

プラザの仲間とは2か月に1回飲み会で会う事に決まりましたが、全員が元気に参加し飲み会が長続きする事を願っています。

クラブ解散に当たり

高田 廣

今年は6月2日に梅雨入り宣言が、気象庁より発表があった。平年並みらしいが今の処空梅雨で余り雨は降らないが、九州は大雨で所によって被害も出ている様だ。近頃地球温暖

化で、ゲリラ豪雨が多い。例えば悪いが男性的である。昔は梅雨と言えば、しとしと降りが来る日も来る日も続いた気がする。日本列島はこれからが梅雨本番だ、被害が出ないことを願うばかりだ。日本列島には年間に四季がある。梅雨が明ければ暑い夏だ。気象の変化に負けない様に生きたいものだ。

今年は名古屋YMCAの本館が名古屋市千種区に新設された、記念すべき年である。この年に我々プラザクラブはこの6月をもって解散となる。何か因縁みたいなものを感じる。

振り返れば2007年10月15日に入会伝達式を受けて、8年間ワイズメンとしてささやかながらプラザのメンバーで活動して参りましたが、クラブメンバーの高齢化と新しいメンバーが加入する見込みもなく、残念であるが閉じざるを得なかった。始まりがあれば必ず終わりがある、その時が来たと思わざるを得ない。

プラザクラブは仲間意識が強く、まとまったクラブだった。私も入会后、数人のゲストを招き入会の運びとなったが仕事の都合や健康上の都合でやむなく退会をした。残念だが仕方がない。将来の見込みがなく我がプラザクラブは解散するに至るが、これまで活動して来た奉仕活動は引き続き行うことを全員一致で継続する事を決めた。又忘れぬ程度に親睦を深めることも決めた。解散するに当り他クラブメンバー、YMCAの皆様そしてリーダーの方々に対して厚くお礼を申し上げますと共に皆様方の繁栄を願います。

みじかい間でしたが

担当連絡主事 西野真希

私が前任の万福寺さんからプラザワイズ担当主事となったのが今年の4月。以前に何度か『ケンボー』で行われる例会に参加させていただいたことがあったので、プラザワイズの担当主事をさせてもらえることは嬉しく、またみなさんが温かく迎えてくださったのでプラザの例会は毎回楽しく参加をさせていただいていました。初めての例会を歓送迎会として『みなと』で開催していただき、お話をする中で大学の先輩が2名もいらっしやることを知り余計に嬉しい気持ちになりました。また様々なご経験をされていらっしやるみなさんのお話を聞いているのはとても楽しく、初回の歓迎会から担当主事というよりも…お酒をおいしくいただいてお話を聞ける素敵な場所に身を置いて幸せだなあ…と思っている自分がいました。そんな中、クラブの解散が決まり残念に思っていますが、みなさんが結論を出された経緯については、私が加わる以前から熟考を重ねてのことだと思っています。短い期間の中にもプラザワイズの連絡主事として関わらせていただいたことを、メンバーの皆様へ感謝申し上げます。今後もYMCAを違った形でサポートしてくださるということで、引き続きYMCAとの関わりを持っていただけることも感謝いたします。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

聖書の言葉

【今ここに生きている一匹の犬は、とうに死んでしまった勇猛果敢なライオンにまさる。(伝道の書・9.4)】

【生きていてこそ(白取春彦著「超訳 聖書の言葉」より)】

【死ぬことを知れば、何かをしようという希望が与えられる】